

# 4班 トミュリス

トミュリスは中央アジアのカスピ海東岸に勢力を有していたマッサゲタイ族の女王です。マッサゲタイとは紀元前 530 年ごろの中央アジアに暮らしていた遊牧騎馬民族です。アケメネス朝のキュロス大王の策略により夫と息子を亡くした彼女は、勇猛に自軍を率いてペルシアを攻め、大王を倒しました。

- 1 体目のデザインは、狩りをする姿からイメージしてファーを付けました。スカートにはスリットを入れて足がきれいに見えるようにしています。
- 2 体目のデザインは、映画内でトミュリスが着用していたイメージが強い「赤」を主にいれるデザインにしました。
- 2 体ともズボン裾の部分には、映画内で着用されていた王冠をイメージした柄が入っています。

## ④-1



◆担当アイテム：トップス

◆使用素材：ポリエステル

◇制作について

ミュリスは馬に乗り戦う騎馬民族です。そのため、ファーを袖部分につけて野生感を出しました。また、ハイネックの丈が短いものを映画内で着用していたため、デザインに取り入れました。トミュリスのイメージである「金」をボタンで表現するため前開きのデザインにしました。

本体は暗めのグレー、ファーだけ浮かないかつ馬の毛並みを表現するために暗めの茶色を使用しました。全体的に低彩度の色を使うことで鎧感を出しました。

## ④-2



◆担当アイテム：鞆、ベルト

◆使用素材：シルク 平織、レーヨンタフタ、ファー

◇制作について

鞆の形を三角にして取っ手の部分をファーにしました。貴族や王族昔の人は狩りをして毛皮などを着ていたの毛皮に見せかけてファーを使いました。トミュリスの人達は堅そうな生地を着ていたの鞆も生地が薄くならないように生地を選びました。

色は基本的に赤茶や黒など映画を見ていて全体的に暗いイメージがあったので鞆は赤茶メインに作りました。ファーの取っ手も赤茶ですが鞆よりかは薄い色で鞆の部分が目立つように作りました。ベルトは全体を締めるパーツでもあるので黒色でもできるだけ漆黒に近づけて暗い黒を作りました。

## ④-3



◆担当アイテム：スカート

◆使用素材：綿サテン

◇制作について

トミュリスは体にフィットする服よりも、ゆとりがある服が多かったため、現代風のデザインで表現するために、歩くとひらひらと動く前開きのスカートにしました。

全身黒色の衣装を着て戦っているシーンや結婚式のシーンで夫であるアルグンが黒色の服を着ていたことから、黒っぽい色を用いることにしました。絞り染めの工程では民族っぽさを出すためにあえてまばらに絞り、染色しました。

歩いた時にきれいに見えるように裾の近くに刺繍を施しています。

刺繍はトミュリスが被っていた頭巾の金の装飾を参考にしました。

## ④-4



◆担当アイテム：ワイドパンツ

◆使用素材：綿ツイル 白生地

◇制作について

デザインについては、2024年のトレンドが、パンツが重心に置かれたコーデであり、ゆとりのある縦長シルエットで、バギーパンツが主流であるとわかりました。なので、シルエットをワイドにし、存在感がある形にしました。全体の色は暗色で一色に染め、裾にトミュリスの王冠をイメージさせるマークを小さく入れ、他のアイテムとのバランスを取るデザインにしました。

トミュリスの映画の背景が紀元前 530 年頃であり、あまりたくさん色が使われていないこと、状況が戦争中である事などから、暗めの雰囲気の色を使い、当時を表現しました。

## ④-5



◆担当アイテム：ハーフパンツ

◆使用素材：綿ツイル 白生地

◇制作について

作品内でトミュリスが着用している王冠を参考に、ズボンのワンポイント柄をデザインしました。トミュリスとは基本戦いのイメージがあるため、長ズボンでは動きが制限される恐れがあります。長ズボンは引きずる可能性もあるため、動きやすいハーフパンツがいいのではと思いこのハーフパンツをデザインしました。

作品内で着用されている衣服は、赤色が多く見受けられた印象があります。戦いの場で目立つ可能性が高く、この場所にいるとすぐに認識できると思いました。

## ④-6



◆担当アイテム：トップス

◆使用素材：綿ツイル 生機

◇制作について

今回モデルにさせていただいたトミュリスという女性は遊牧民族であり、その中でも非常に高位に位置していることがわかります。

このことからトミュリスのテーマで使うトップスは女性らしさを残しつつワイルドさがあります。それに加えてモデルがメンズなので男性衣装に近いように仕上げています。

戦闘時に着用していた衣装を参考にして色を設定しました。当時の民族衣装に近づけ、更に現代的なものに仕上げられるようにするため色を赤とブラウンを中心に染色作業を組み立てて行くことにしました。

④-7



◆担当アイテム：帽子

◆使用素材：コーデュロイ、ファー

◇制作について

全体の作品イメージを考えたときにファーを使いたいという意見が出て、トップスと帽子とバッグの持ち手にファーをつけることになりました。ファーが付いている帽子といえばフライトキャップが一番に思い浮かんだのでこれにしました。全体的には映画を見たときに印象に残った炎の赤っぽい感じや女王の感じの金色を取り入れたりしてデザインをしました。

帽子全体を同じ色にするのではなく、コーデュロイの部分とファーの部分で色合いを少し変えました。赤っぽくすることでトミュリスの映画の感じや、戦いのときの炎が出ている感じを表しました。